

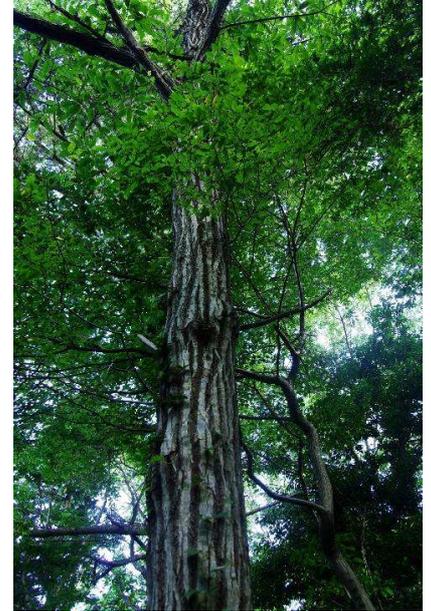
田和山の樹木 第12回 「ク リ」 (竹下記)

ブナ科の落葉樹の6番目はクリです。

クリは、人にとって最も親しみのある樹木の一つで、日本列島に人が足跡を残して以降、最も重要な食料源となってきました。そのため古くから栽培をされ、各地で品種として大切に育てられてきました。(日本最大級の縄文集落跡の三内丸山遺跡での発掘調査で、その時代からクリが栽培されていたことがわかっています)

クリは実生で育てると小粒かせいぜい中粒の実しかできません、そのため自然にあるクリはシバグリ、ヤマグリとも呼ばれ、栽培種と区別されています。田和山では栽培種はありません。栗は、材質が堅く腐りにくい材料としても有用とされ、建物の土台や水回りや柱、鉄道用の枕木として使われてきました。

県内の大山林所有者は、炭焼き全盛時においても、クリは、アカマツ、ケヤキなどともに炭にはせずに禁木として残していたと言われ、かなりの大木があり枕木用として出材されています。



水道路側壁の整備



側壁のクズや草等を取り除く

7月の作業は水道路の整備が中心でした。午前中作業のため、比較の日陰が多く直射日光に当たらず作業ができました。毎年整備をしていますが、近年はコンクリート壁にクズや竹の根が出るようになり取り除くのが困難になっています。

「蜜を避けての祝賀会」

去る7月31日(金)午前中作業を行った後、石井顧問の祝賀会を行いました。石井顧問は今春3月1日付けで瑞宝双光章の叙勲を受けられました。総会に併せお祝いの会を開く予定でしたが、コロナ禍のため延期していました。この度、浜乃木の「御華門」で開催しました。

当日は21名の参加があり。竹下会長の祝辞に続いて石井顧問の謝辞があり、乾杯の後久しぶりにお酒を飲みながら歓談しました。会場の「御華門」ではコロナ対策を行い、消毒や換気などに気を付け、蜜を避けるよう席も空け、時間内で終わるように配慮してくれました。

第14回 写真展案内!

～田和山史跡公園の四季～

高木幹雄氏が写した写真を中心に遺跡出土品などの展示が下記のように開かれます。森のキンランの写真もありますので、是非ご覧ください。

期間：8月12日～16日

(初日12:00～、最終日16:00)

会場：中国電力ふれあいホール



席をあけて折弁当の会食



ヤブカンゾウ

・・・ 今後の作業予定 ・・・

8月は暑さ対策で午前中作業、9月からは通常通り第3週を除き午後の作業となります。

8月7日(金)9:00～、15日(土)盆休み、21日(金)9:00～、28日(金)9:00～

9月4日(金)13:30～、11日(金)13:30～、19日(土)9:00～、25日(金)13:30

～